

誤答研究 中2編(その19)

2022.9.22(木)

「動点と面積」の旅－第2,3日目のさわり

「センセっ！」

突然、生徒Aが挙手。

生徒A「”さわり”って、なんか、教師としては、まずいんじゃないですか？

何かに”さわる”なんで、なんか、…」

先生「ん！？…

あのねエ、…

国語のお勉強は、ちゃんとしているの？

ま、いい。あとで「広辞苑」で調べておきなさい！

次、いきますっ！」

★

旅の第1日目は、あちこち道草をしてしまって、
結局、頂点Bまでしかたどりつけませんでした。(*^_^*)Hahu!

実は、動点問題の核心はCD間とDA間なのです。
だから、第2日目と第3日目が山場になりますナ。
あっ、言っておきますが、山に登るのではないのですよ…
問題を解く上で、最も大切な部分ということです。
え？そんなこと、知っとるって？
失礼しました。

CD間は、

x が変化していくのに y が全然変化しないという摩訶不思議な世界です。
関数式では、 x も消えてしまいます。
関数としては異常な世界です。
 x はどこへいったの？
あるべきものがないというのは、実に不安なものです。
うろうろする生徒がでます。

DA間では

目的地までの道のりに思いを馳せ、
旅してきた軌跡を振り返って自分の現在地を確かめます。

しかも、それを関数式で表すなど、
旅行会社の社員みたいなことをせねばなりません。
旅のハイライトであり、最後の難関です。
動点問題のカーネル(kernel)です。

「第4コーナーの問題」とも言われています。
競馬でいうゴール直前の直線コースのことです。
この部分が理解できないことが、動点問題ができないことの原因です。
原因がわかると治療ができます。
だから、動点問題など
どんな生徒でも分かるようにすることができるのです…



だから、だから、CD間とDA間の旅のしかたは、
どの生徒にも理解できるように、ていねいに、ていねいに、説明してあげなければなりません。

ということで、次回に、詳しく、詳しく、お話します。
よって、きょうの授業はここまで…

動点問題を極めるには数専ゼミの数学教室にかぎる！

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp